

“豊饒”人間主義都市 岐阜市

～人が織りなす絆とともに～

岐阜市長 細江茂光



- ◆ 市の福祉事務所では、生活保護を受けている市民の方への就労支援として、平成22年度から就労支援員を配置し、就職の決まらない方や、長期間就労されていない方を対象に、就労支援プログラムやキャリアカウンセリングによる相談・支援を行ってきました。
- ◆ 平成24年度からは、この市の行う就労支援と、ハローワーク岐阜が行う職業紹介や職業相談業務を、ワンストップで行うことができるよう、生活福祉課内に「はたらき支援ルーム」を開設いたしました。市のケースワーカーや就労支援員とハローワークの職員が連携して、より細かな就労相談・支援を行っています。
- ◆ これにより、生活保護を受けている方のみならず、生活困窮のために相談窓口に訪れた方に対して、よりタイムリーな相談・支援が可能となり、平成24年度は1,090人を支援し、303人が就職、112人が生活保護から脱却することができました。
- ◆ このように生活保護をはじめ、福祉サービスを提供する市と、職業紹介・相談を行う国とが、一体となって連携・協力する取り組みは、今後、増加が懸念される生活困窮の方への早期自立に向けた、新たな支援として大いに期待できるものです。
- ◆ 本市の掲げる、人と人との支え合う「人間主義都市」の実現に向け、国と自治体が手を携え、積極的な支援を進めてまいります。